

教科目名 地理 (Geography)

学科名・学年 : 全学科 3年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 村田剛一

授業の概要			
世界の各地域について自然地理学および人文地理学的に学び、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 世界の各地域の特性を、自然と人文の関わりの中で理解する。(定期試験) (2) 世界の中の日本の立場と役割を理解する。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	大規模な地形、地形の分布と特徴 地形のなりたち(1) 地形のなりたち(2) 世界の気温と雨、地球の大気の流れ 地球規模でみた気候の地域性 ケッペンの気候区分 熱帯、乾燥帯の自然環境	○大陸や大洋の大地形、大山脈の分布、山地や平野などの地形について理解できる。 ○造山運動と造山帯、プレートテクトニクス理論について理解できる。 ○大気の大循環、大陸性・海洋性気候、東岸・西岸気候について理解できる。 ○熱帯や乾燥帯の気候・分布・土壌・植物について理解できる。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 温帯の自然環境 冷帯・寒帯の自然環境 総合的な自然環境の関係 農産物の生産地域、農業地域の形成 農業地域の形成と分布(1) 農業地域の形成と分布(2)	○温帯・冷帯・寒帯の気候・分布・土壌・植物について理解できる。 ○気候区と植物帯と土壌帯の関係の整理。 ○米・小麦の生産地域、牛・羊の分布について理解できる。 ○オアシス農業、地中海式農業、混合農業などについて理解できる。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	前期期末試験の解答と解説 インドネシアの自然と人口 インドネシアの文化と歴史 アングロアメリカの総論、自然 アングロアメリカの歴史、住民 アングロアメリカの産業 都市、太平洋地域とアジア、日本 ブラジルの自然環境、住民と文化	○インドネシアの気候・言語・宗教・農林水産業・地下資源・工業化などについて理解できる。 ○アングロアメリカの地形・気候・殖民の歴史・人種・民族・農牧業・鉱工業などについて理解できる。 ○多くの日系人が住んでいるブラジルの地形・気候・歴史などについて理解できる。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 ブラジルの経済と貿易、社会 ヨーロッパ、EUの成立と拡大 ヨーロッパ地域、交通網 ヨーロッパ工業地域と農業地域 朝鮮半島の自然、韓国文化の特徴 韓国経済、日韓関係	○ブラジルの農業・資源・社会などについて理解できる。 ○ヨーロッパの自然・気候・民族・EUの歩み・統合への問題点・交通網・外国人労働者の問題・農業の地域差などについて理解できる。 ○朝鮮半島の気候、ハングル、儒教的伝統、経済・領土問題などについて理解できる。	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	しっかり復習すること。		【総合達成度】
教科書	山本正三ほか著、『詳説新地理』、『高等地図帳』、二宮書店。		
参考図書			
関連科目	現代社会(1年)、政治経済(1年)、日本史(1年)、世界史(2年)。		
総合評価	定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点